

1. 科目名 (単位数)	心理学的支援法 (基礎) / カウンセリングの基礎 (2 単位)		3. 科目番号	PSMP2150 SSMP2344 SNMP2344 SCMP2344 SBMP2344 PSMP2180
2. 授業担当教員	平久江 薫			
4. 授業形態	講義、討議、発表、演習		5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係				
7. 講義概要	<p>カウンセリングの土台となる人間の心のメカニズムについて理解し、面接中に生起する様々な現象とカウンセリングのプロセスについて基礎的な内容を学ぶ。また、カウンセラーの基本的態度や面接技法、心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援について、討議や演習を通して実践的に理解する。プライバシーへの配慮などの倫理的側面、精神保健や予防など心の健康教育についても理解する。</p>			
8. 学習目標	<p>1. カウンセリングの基本的な概念やプロセスを理解し、説明できる。 2. カウンセリングの面接技法、関係者への支援等について初歩的な演習を行う。 3. カウンセリングにおける倫理的側面、心の健康教育について理解する。</p>			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート 課題	<p>各回の振り返り用紙記入とは別に、期末レポート課題を課する。 レポート課題: 授業内で学んだ個人またはコミュニティへの支援のうち一つをテーマとして選び、その支援法の要点と授業及び授業前後で自身が体験したことをまとめ記述する。</p>			
10. 教科書・参考 書・教材	<p>【教科書】 指定しない 【参考書】 窪内節子・吉武光世 『やさしく学べる心理療法の基礎』 培風館、2003 渡辺三枝子 『新版カウンセリング心理学』 ナカニシヤ出版、2018 杉原保史・福島哲夫、東斉彰 『公認心理師標準テキスト 心理学的支援法』 北大路書房、2019</p>			
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準 1. 授業に熱心に取り組み、積極的に発言・発表・ノート作りをしたか。 2. レポートは、要点を分かりやすくまとめる力がついたか。 ○評定の方法 授業への参加度(学習態度、発表、ノート等) 50% レポート課題 50%</p>			
12. 受講生への メッセージ	<p>○成績評価の規準 1. 授業に熱心に取り組み、積極的に発言・発表・ノート作りをしたか。 2. レポートは、要点を分かりやすくまとめる力がついたか。 ○評定の方法 授業への参加度(学習態度、発表、ノート等) 50% レポート課題 50%</p>			
13. オフィスアワー	<p>心理学的支援法のベースである「カウンセリング」について、どのように生まれたのか、実際はどのような技術であるのか、現代社会においてどのような意義を持つのか、その基礎について専門的に学んでいきましょう。</p>			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第 1 回	オリエンテーション 心理学的支援法について 自己 点検チェックリスト	事前学習	心理学的支援法についてどのような事柄を学びたいのかノートに記載する	
		事後学習	自己点検チェックについての振り返り	
第 2 回	カウンセリングの成り立ち、意義、適用について	事前学習	カウンセリングについて知っていることやそのイメージをノートに記載する	
		事後学習	カウンセリングについて新たに学んだことをノートにまとめる	
第 3 回	人間理解の理論 1 精神分析理論①	事前学習	精神分析やフロイトの理論について予習しておく	
		事後学習	精神的な視点について復習する	
第 4 回	人間理解の理論 1 精神分析理論②	事前学習	自分自身が日常で多く繰り返す人間関係の問題パターンがないか検討してくる	
		事後学習	交流分析から学んだことを振り返る	
第 5 回	人間理解の理論 2 クライアント中心療法	事前学習	カール・ロジャーズの理論について予習しておく	
		事後学習	ロジャーズの人間観をノートにまとめる	
第 6 回	人間理解の理論 2 カール・ロジャーズのカウンセリング	事前学習	もし自分ならばどのようなカウンセラーに出会いたいのか想像しノートに記載する	
		事後学習	事前学習の内容を再び検討してみる	
第 7 回	人間理解の理論 3 行動療法・認知行動療法	事前学習	自身が苦手さ、恐怖を感じている事柄についてノートに記載する	
		事後学習	学習理論を活かした心理療法について復習をする	
第 8 回	人間理解の理論 4 表現療法・芸術療法	事前学習	自分自身の表現活動について振り返る	
		事後学習	表現療法のワーク	

第9回	カウンセリングの基礎理論①：ニーズ、場面構成	事前学習	日常における相談とカウンセリングの違いについて想像したことをノートに記載する
		事後学習	上記について学んだことをまとめる
第10回	カウンセリングの基礎理論②：インテーク面接、プロセス、カウンセリングの効果	事前学習	カウンセリングの初期と後期で何か変わることがあるか想像しノートに記載する
		事後学習	カウンセリングの過程について学んだことをまとめる
第11回	カウンセリングにおける見立て① 発達段階	事前学習	年齢によりカウンセリングにどのような違いが出てくるか想像し記載しておく
		事後学習	特定の年齢層におけるカウンセリング事例について調べてみる
第12回	カウンセリングにおける見立て② 病態水準	事前学習	アセスメントについて学んだことを復習しておく
		事後学習	カウンセリングの見立てについて学んだことをまとめる
第13回	支援を要する者の関係者に対する支援	事前学習	家族療法について学んだことを復習しておく
		事後学習	関係者への関わりについて振り返りまとめる
第14回	カウンセラーの倫理	事前学習	事前に配布するプリントに目を通してくる
		事後学習	カウンセラーの倫理について自身の心構えを検討しておく
第15回	心の健康教育、まとめ	事前学習	心の健康教育について自身の身近な経験を思い起こしておく
		事後学習	講義を通じて学んだことをどのように周囲の人々に活かしていきたいか考える
15. 実務経験を有する 教員特記事項	医療法人での臨床心理士やスクールカウンセラーとしての勤務経験を活かし、「7」に示す講義概要に則した講義を行う。		